



Kyushu FG

# 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応

2024年3月

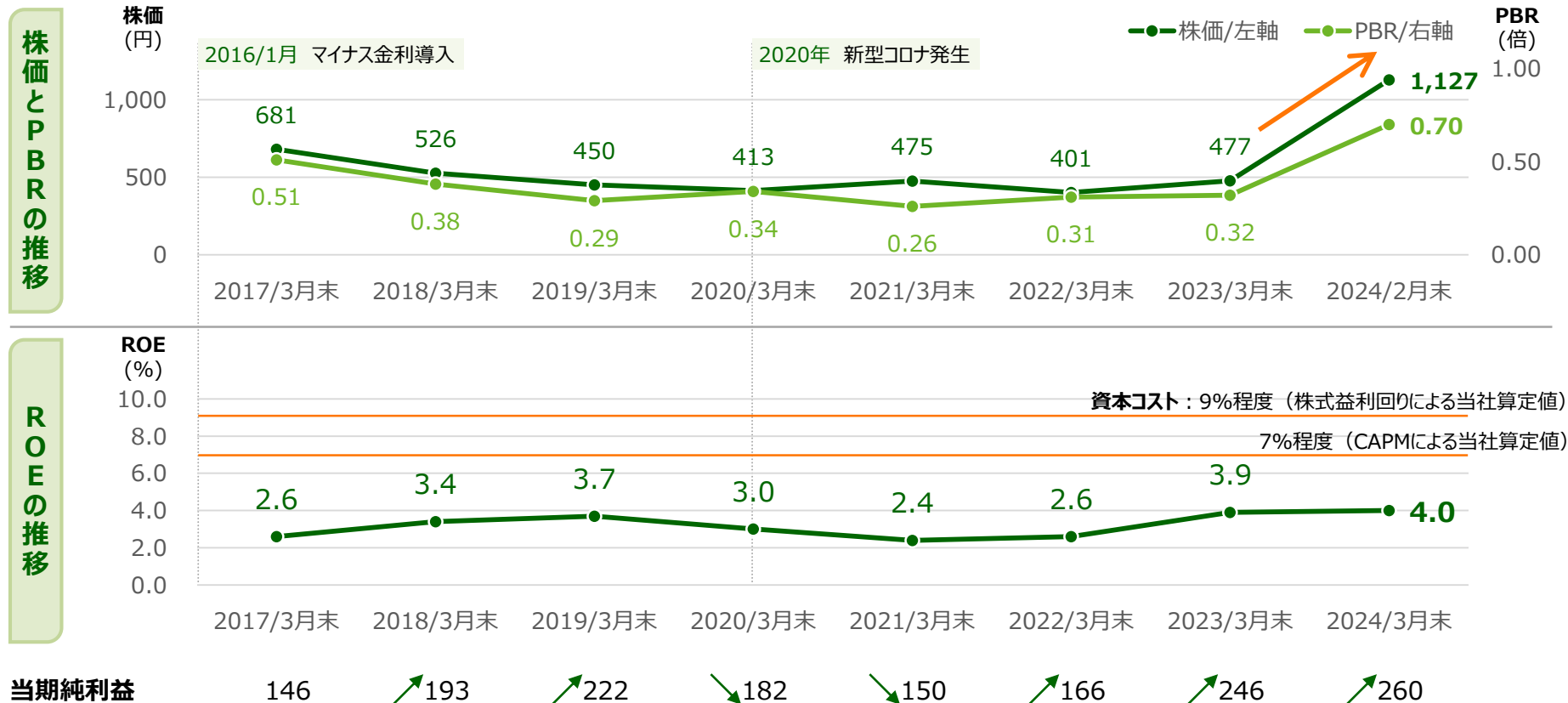
株式会社九州フィナンシャルグループ

Kyushu Financial Group, Inc.



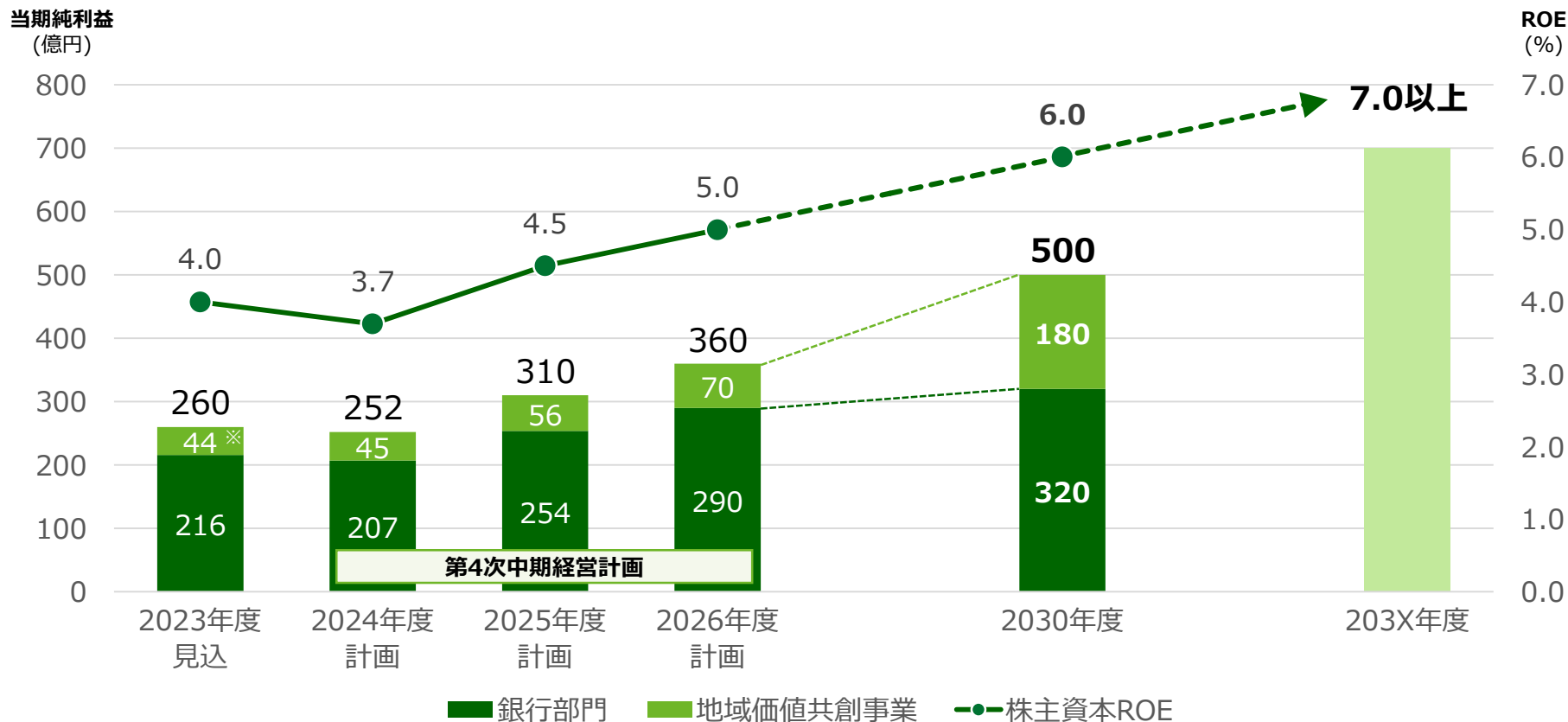
# 1. 現状分析（当社株価等の評価）

株価の上昇に伴いPBRは改善傾向にあるが、ROEは資本コストを下回る状況



## 2. 当社グループが目指す姿（利益・ROE向上）

継続的にリスクリターンの改善を図り、中長期的に資本コストに見合うROE7%以上を目指す



※銀行の預り・法人ソリューション役務を、地域価値共創事業に算入

# 3. PBR改善ロジックツリー

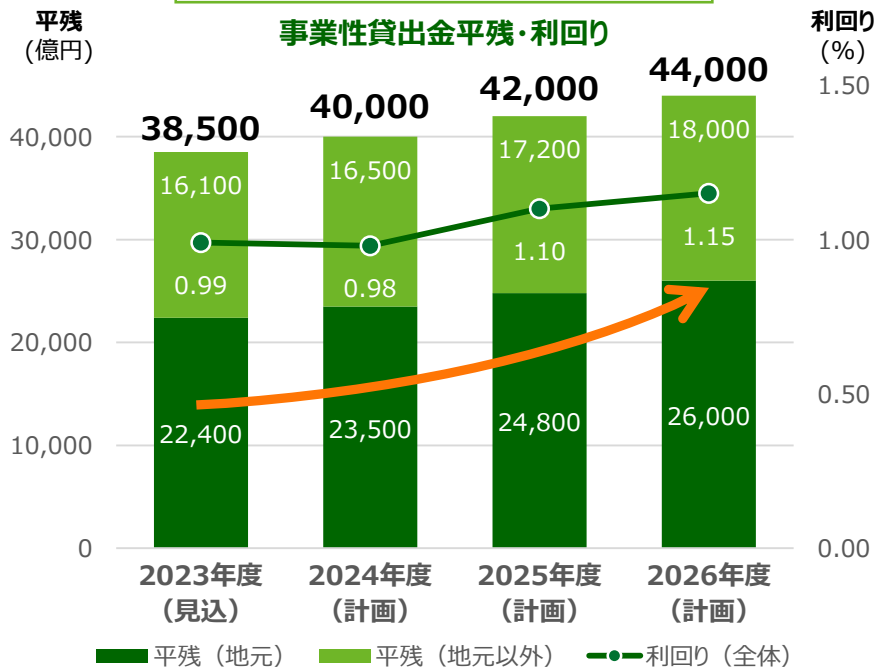
PBR改善	ROE向上	RORA改善	収益力強化	コア事業の強化	◆法人貸出および個人ローン増強	P5
				役務取引の強化	◆法人関係等への高度なコンサルティングの提供(法人役務) ◆預り資産、信託業務への取り組み(個人役務)	P6
			コストコントロール	経費コントロール	◆OHRコントロール	P7
				与信費用コントロール	◆経営支援改善等を通じた与信コスト抑制への取り組み	P8
			リスクアセットコントロール	アセットアロケーション	◆目標とする自己資本比率レンジ内でのコントロール	P9
	財務レバレッジコントロール	資本の有効活用	リスクアセット削減	◆政策投資の縮減	P10	
			新規事業	◆新規事業投資		
		株主還元の充実	業績連動型の配当	◆利益の向上による配当金増加	P9	
			自己株式の取得	◆適時適切な実施		
	PER向上	資本コスト抑制	事業リスク低減	業績ボラティリティの改善	◆業績予想と実績の乖離縮小、投資家との対話充実	P11
				ESG評価の向上	◆ガバナンス項目の向上	
期待成長率向上		地域経済の活性化	地域価値共創事業の強化	◆共創ビジョンへの取り組み	P13	

# 4. RORA改善 ①コア事業の強化

## 法人貸出

電子デバイス関連産業等の地元資金需要への対応

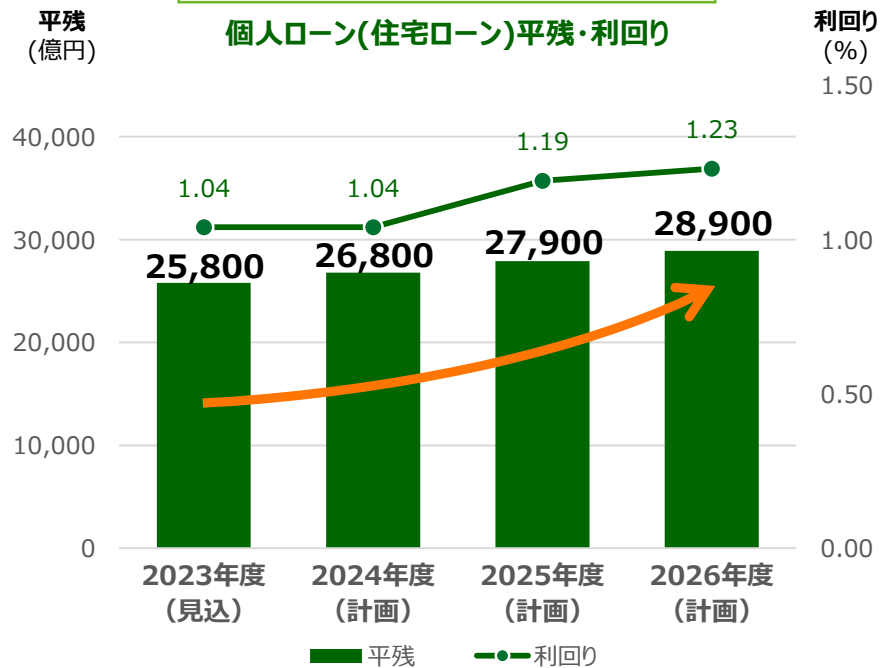
26年度貸出金利息増加額 +125億円  
(金利要因+62億円、平残要因+63億円)



## 個人ローン (住宅ローン)

個人取引メイン化の中核商品として推進

26年度住宅ローン利息増加額 +87億円  
(金利要因+49億円、平残要因+38億円)

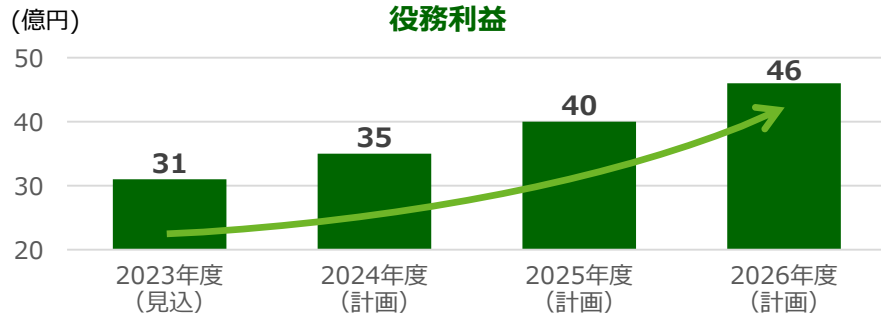


## 法人ソリューション

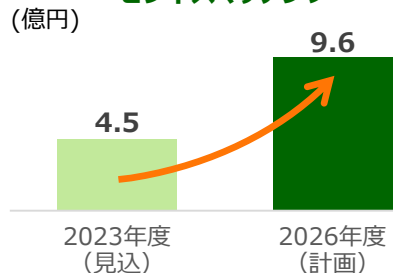
### 地域産業の成長支援

法人ソリューション役務利益 増加額 +15億円  
 (うちビジネスマッチング+5.1億円、事業承継・M&A+2.9億円)

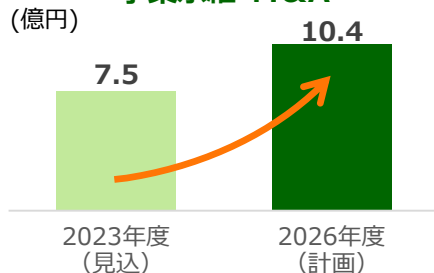
#### 役務利益



#### ビジネスマッチング



#### 事業承継・M&A

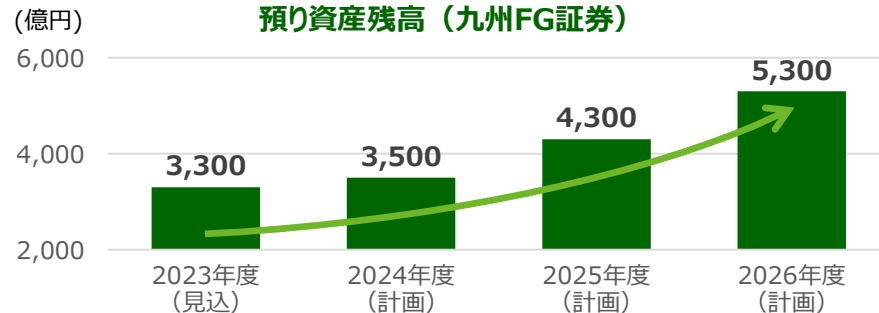


## 預り資産

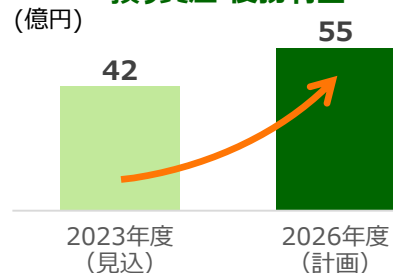
### ライフプランコンサルティングの進化

預り資産残高増加額 (九州FG証券) +2,000億円  
 (預り資産役務利益+13億円、うち信託業務+4億円)

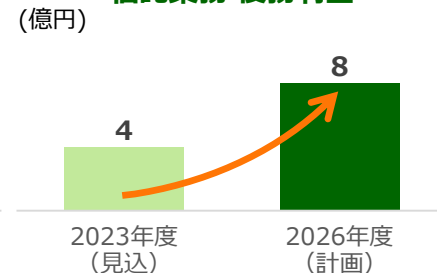
#### 預り資産残高 (九州FG証券)



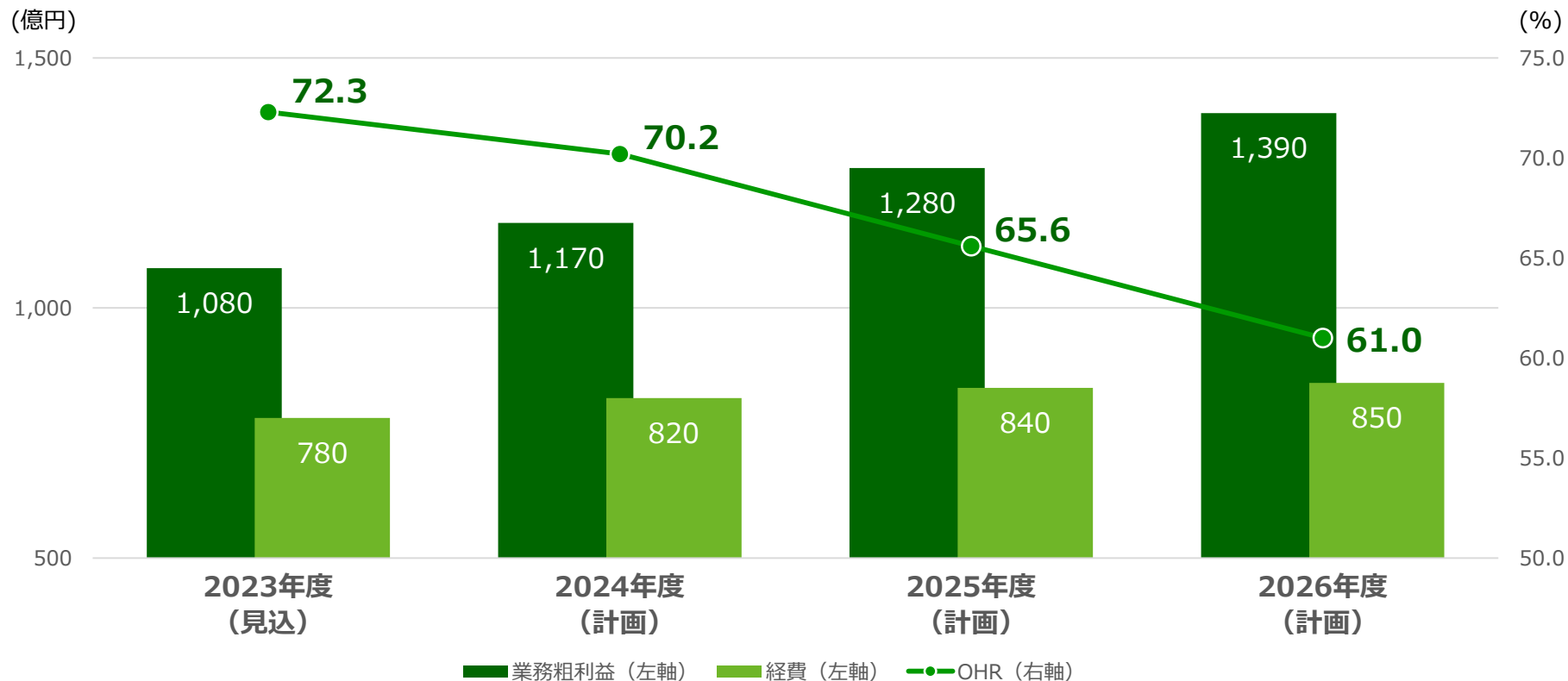
#### 預り資産 役務利益



#### 信託業務 役務利益

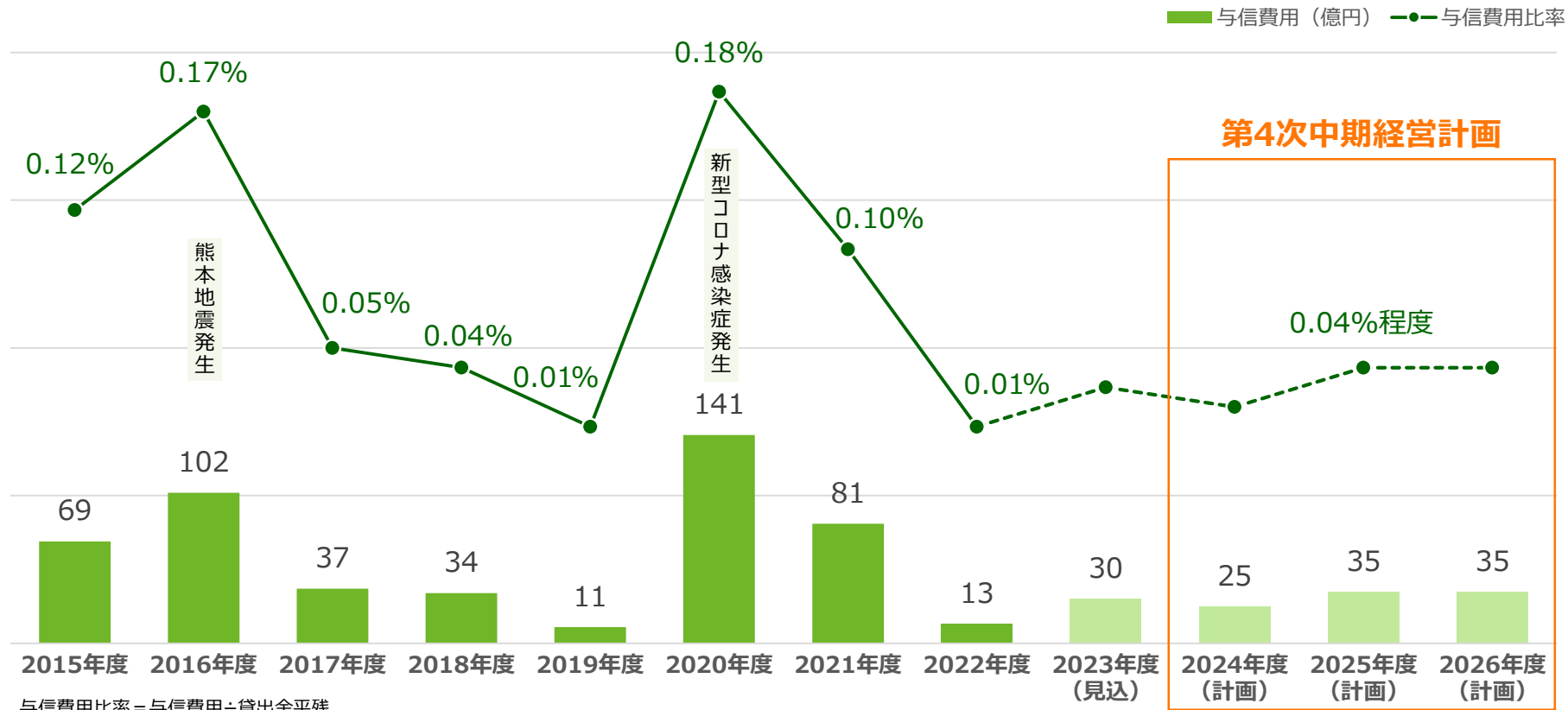


## 業務粗利益の増加によりOHRは10%超の改善



# 4. RORA改善 ④与信費用コントロール

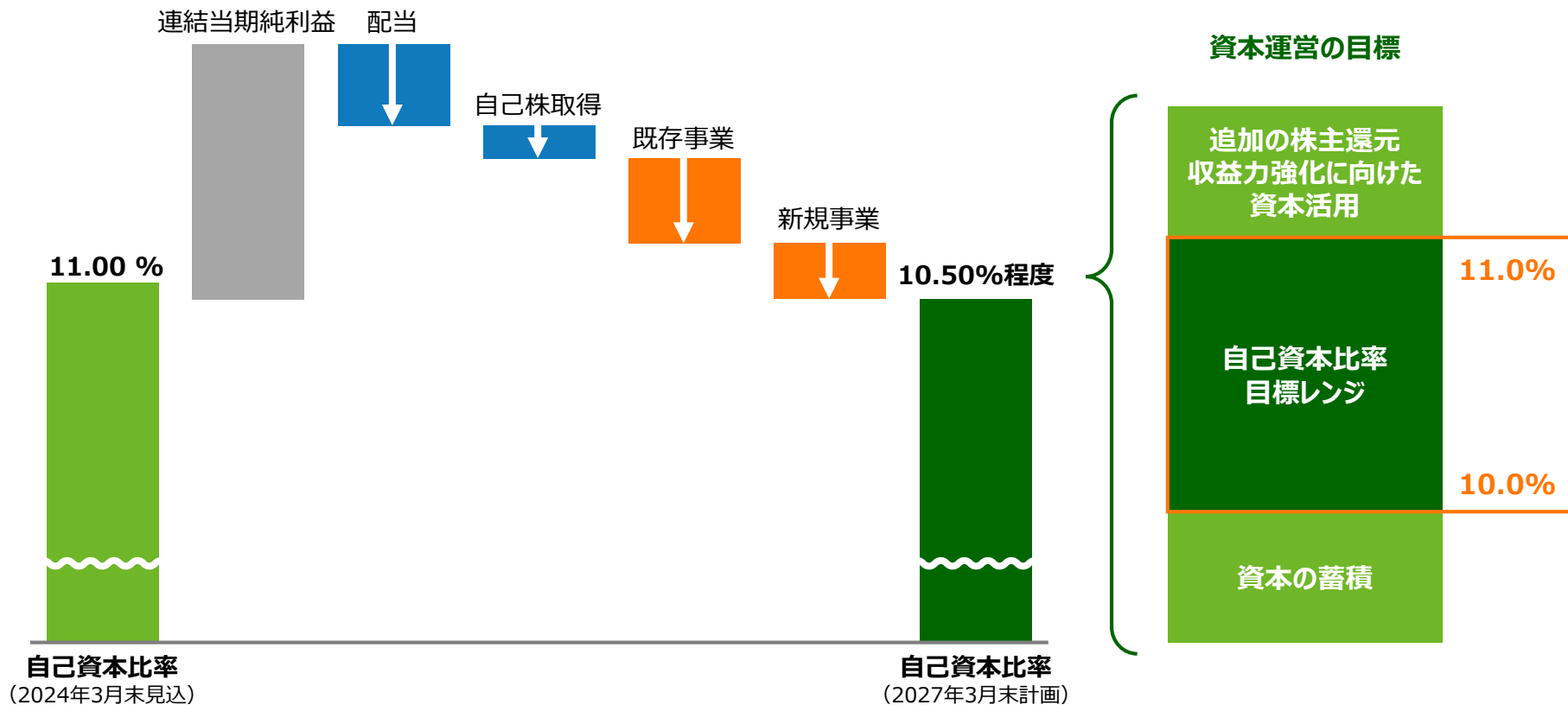
経営改善支援等を通じた与信コストの抑制により与信費用比率は0.04%程度で推移見込み



与信費用比率 = 与信費用 ÷ 貸出金平残



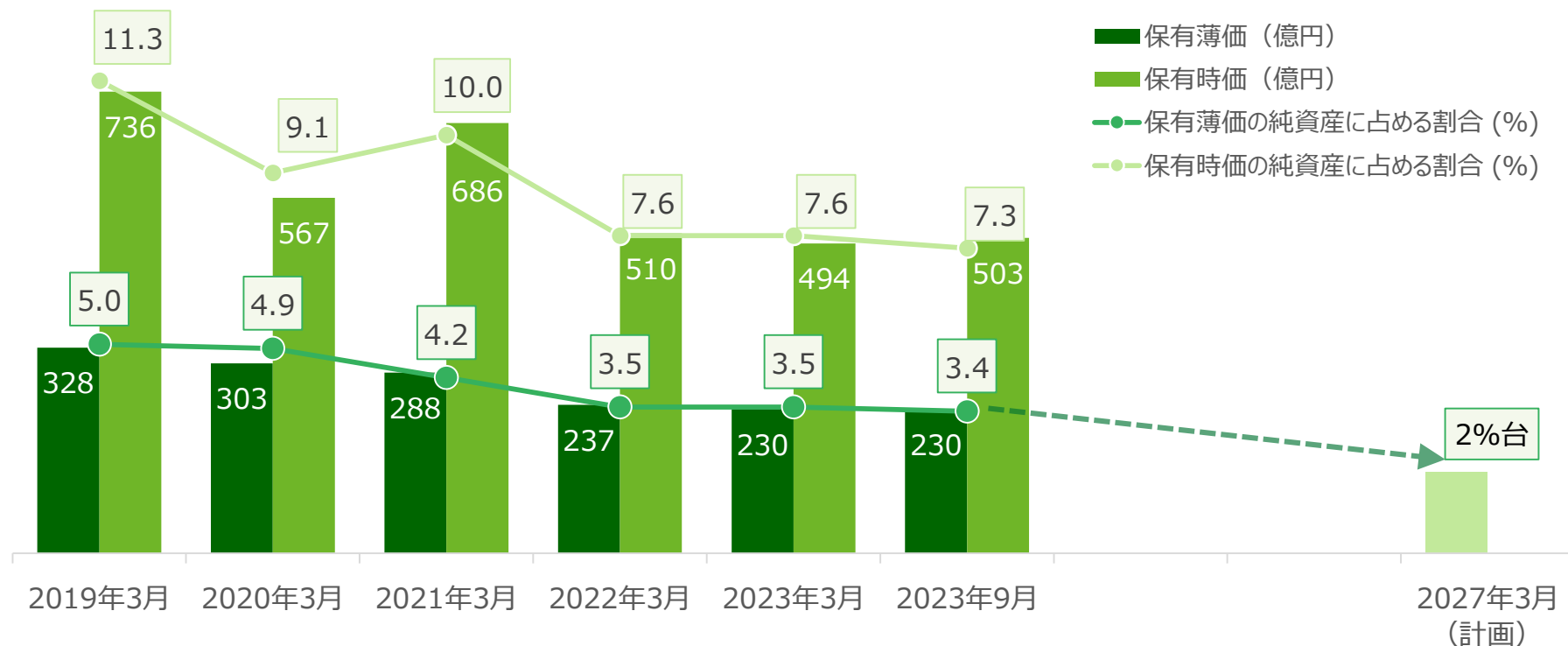
地域社会へ安定した金融サービスを提供出来る自己資本比率10~11%を適正水準として運営



## 政策投資株式の縮減

◆時価ベースでは上下があるものの、簿価ベースでは着実に縮減を進めている

◆更に、保有簿価の純資産に占める割合を2%台まで縮減方針

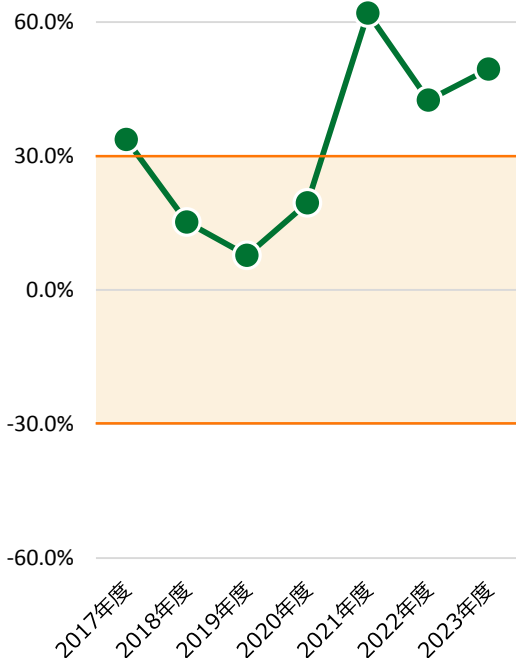


# 6. 資本コスト抑制（業績ボラティリティの改善・ESG評価の向上）

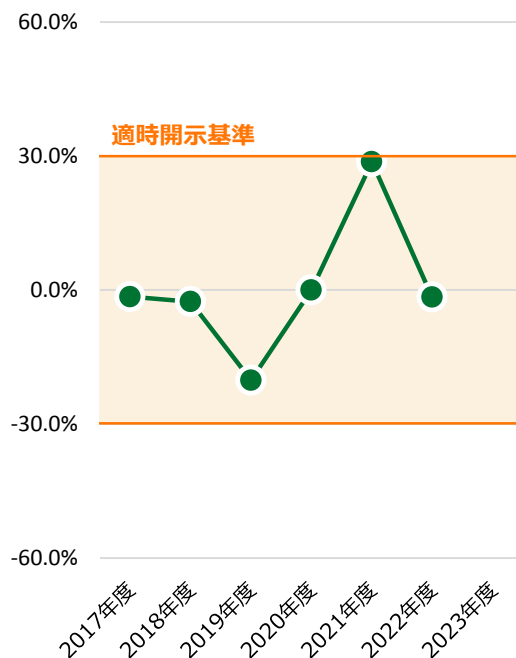
## 業績ボラティリティの改善

業績予想（公表値）と実績の乖離の縮小と投資家との対話充実を図る

中間期



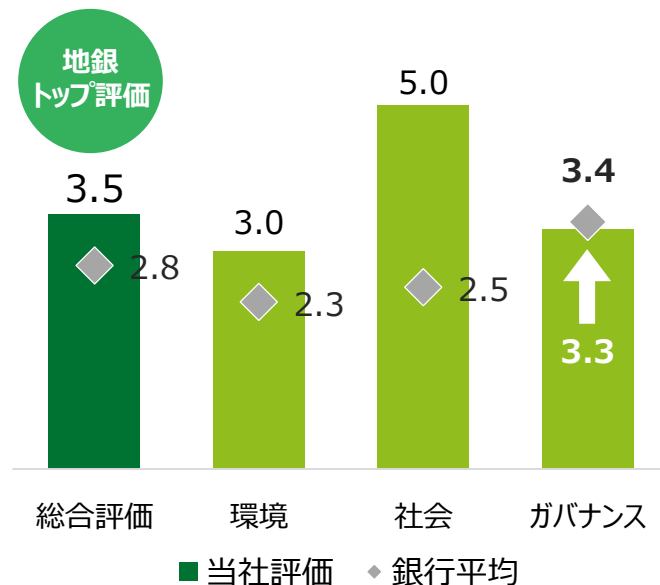
通期



## ESG評価の向上

- ◆ FTSE ESGスコアは地銀トップ評価
- ◆ 銀行平均を下回るガバナンス強化の評価引上に取り組む

### FTSE ESGスコア



# 7. 予想PBR

- ◆市場に期待される成長戦略を示し、その期待に応える実績の積み上げを図る
- ◆早期にPBR1倍を超える水準を目指す

**PBR = ROE × PER** →

PER (倍)

	10.0	12.5	15.0	17.5	20.0	22.5	25.0
7.0	0.70	0.88	1.05	1.23	1.40	1.58	1.75
6.5	0.65	0.81	0.98	1.14	1.30	1.46	1.63
6.0	0.60	0.75	0.90	1.05	1.20	1.35	1.50
5.5	0.55	0.69	0.83	0.96	1.10	1.24	1.38
5.0	0.50	0.63	0.75	0.88	1.00	1.13	1.25
4.5	0.45	0.56	0.68	0.79	0.90	1.01	1.13
4.0	0.40	0.50	0.60	0.70 <sup>*</sup>	0.80	0.90	1.00
3.5	0.35	0.44	0.53	0.61	0.70	0.79	0.88
3.0	0.30	0.38	0.45	0.53	0.60	0.68	0.75

ROE (%) ↑

2026年度  
目標

※2024年2月末

# 8. 期待成長率向上（地域経済の活性化）

グループ会社等

## 2023年度

中計

見込

13%  
33億円

6%  
16億円※  
▲7%  
▲17億円

事業開発部門

銀行以外の金融部門

銀行

銀行

87%  
227億円

94%  
244億円  
+7%  
+17億円

含む信託

預り、法人ソリューション

±0億円

連結当期純利益

260億円

19%  
70億円

## 2026年度 (中計最終年度)

地域価値共創事業

事業開発部門

人材(紹介・派遣・教育)  
リサーチ&コンサル 6億円

九州デジタルソリューションズ 2億円

九州みらいCreation

新規事業

銀行以外の  
金融部門

グループ会社(リース・カード) 21億円

九州FG証券 6億円

銀行部門(預り、法人ソリューション) 34億円

銀行

81%  
290億円

預り、法人ソリューションを除く

360億円

## 2030年度 (共創ビジョン)

36%  
180億円

地域価値共創事業

事業開発部門

人材(紹介・派遣・教育)  
リサーチ&コンサル 10億円

九州みらいCreation 3億円

九州デジタルソリューションズ 10億円

九州会計サービス 0.2億円

新規事業 36億円

銀行以外の  
金融部門

新規事業 36億円

グループ会社(リース・カード) 21億円

九州FG証券 50億円

銀行部門(預り、法人ソリューション) 50億円

銀行

64%  
320億円

預り、法人ソリューションを除く

500億円

※P3の地域価値共創事業44億円は、銀行の預り・法人ソリューションを含む

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。



**Kyushu FG**

#### **本件に関するお問い合わせ先**

株式会社 九州フィナンシャルグループ 経営企画部

TEL 096-326-5588